

前原みなみ人権だより

NEWS FROM HUMAN RIGHTS



(第74号) 令和7年3月1日発行
糸島市人権・同和教育推進協議会
前原南支部 ☎324-1763

令和6年度の取り組みを終えて

人権・同和教育推進事業につきましては、日頃より、校区の皆様方の温かいご支援・ご協力を賜り有難うございます。

令和6年度の事業を進めていく中で、まだまだ、人権問題は様々な事案が発生しているため推進事業・啓発活動を継続する必要があります。

市同協前原南支部では、7月に「人権講演会」、12月に「人権映画祭」、年間を通しての「行政区研修会」等を行い、校区の皆様の人権問題への正しい認識を高め、心に響く取り組みをしていただき、その解消に微力ながら努めていきたいと思えます。今後ともご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



7月 人 権 講 演 会

市同協前原南支部 支部長 森園 吉章



街頭啓発の様子 (JA ポルタ前にて)

令和6年度の主な事業

月	事業内容	参加人数等
5月	前原南支部総会	37名
7月	人権講演会「こどもの居場所ってなあに？」 講師 江頭晶子さん 街頭啓発(JA ポルタ前・筑前前原駅南口)	40名 16名
8月	人権標語募集	
10月	フィールドワーク (熊本県阿蘇地方) ～人権の視点で学ぶ 熊本地震 震災の記憶と防災～	19名
11月	みなみフェス(パネル展示) 人権映画祭、及び人権作文・人権標語表彰式 (12名表彰) 「オレンジ・ランプ」 街頭啓発(JA ポルタ前・筑前前原駅南口)	752名 81名 13名
12月	前原中学校人権・歴史学習参観	5名
1月	常任委員学習会 ～糸島の歴史に見る人権～ 講師 山田泰生指導員	12名
4～3月	常任委員会(年8回)	—
7～2月	人権・同和教育行政区研修会(2サロン、8行政区実施)	290名

前原中学校人権学習の取り組み

12月11日(水)

1 学年「識字学級」

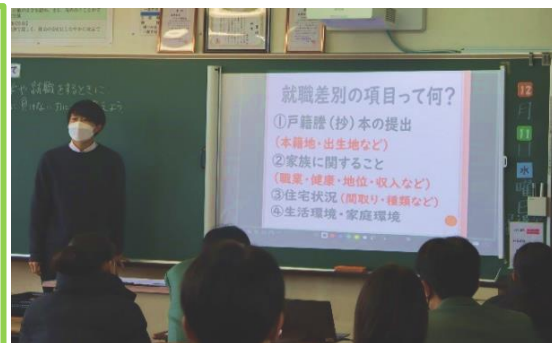
差別により学校で文字を学ぶことができなかった北代色（きただいいろ）さんが、識字学級で文字を学び、夕やけを観て“美しい”と感じました。なぜ、“美しい”と感じたのか、北代さんの思いを知り、文字を学ぶことの大切さについての学習でした。

3 学年「統一応募用紙」(就職差別)

就職の面接の際に、本人の適性や能力に関係のない、いわゆる違反質問にはどのようなものがあるのか、入試でも行われる面接での違反質問に、どう対応したらよいのかの学習でした。

当日は、前原南校区、南風校区の市同協各支部の方々に参観していただき、生徒が学習に臨む姿勢はすばらしく、日常もよい学びができていないのか、また、自分自身学ぶことが多かったなどの意見をたくさんいただきました。

※2 学年「同和問題」インフルエンザによる学年閉鎖のため、翌週に実施。



写真上：3年生の授業風景

写真下：参観に訪れた常任委員



10/16

前原南支部フィールドワーク

～人権の視点で学ぶ 熊本地震 震災の記憶と防災～

*風の丘 阿蘇 大野美術館

*熊本地震 震災ミュージアム

風の丘 阿蘇 大野勝彦美術館

熊本地震発生の一年後に再オープンした風の丘阿蘇大野美術館は、阿蘇の大自然の広大な敷地に建つすばらしい美術館でした。

大野さんは40代の時、農作業中の事故で両手を切断。義手で描いた絵と心の底から湧き出る言葉の筆文字がたくさん展示してあり、すべての作品から前向きに生きていく元気と勇気をもらいました。

(豊田恵子)



震災ミュージアム KIOKU

深く美しい緑の山肌に茶色の山崩れの跡。自然いっぱいの阿蘇キャンパスに走る直線の亀裂。施設内に展示されているのは、地震の衝撃を物語る大破した物たち。

大画面には世界地図。ピカピカと大小の円がついたり消えたり。何と世界中で発生しているリアルタイムの地震の光！「備えあれば憂いなし」迷わず防災グッズを購入。

(波多江純子)